

# 治山ダムのはたらき

## ちさん 治山ダムのはたらき

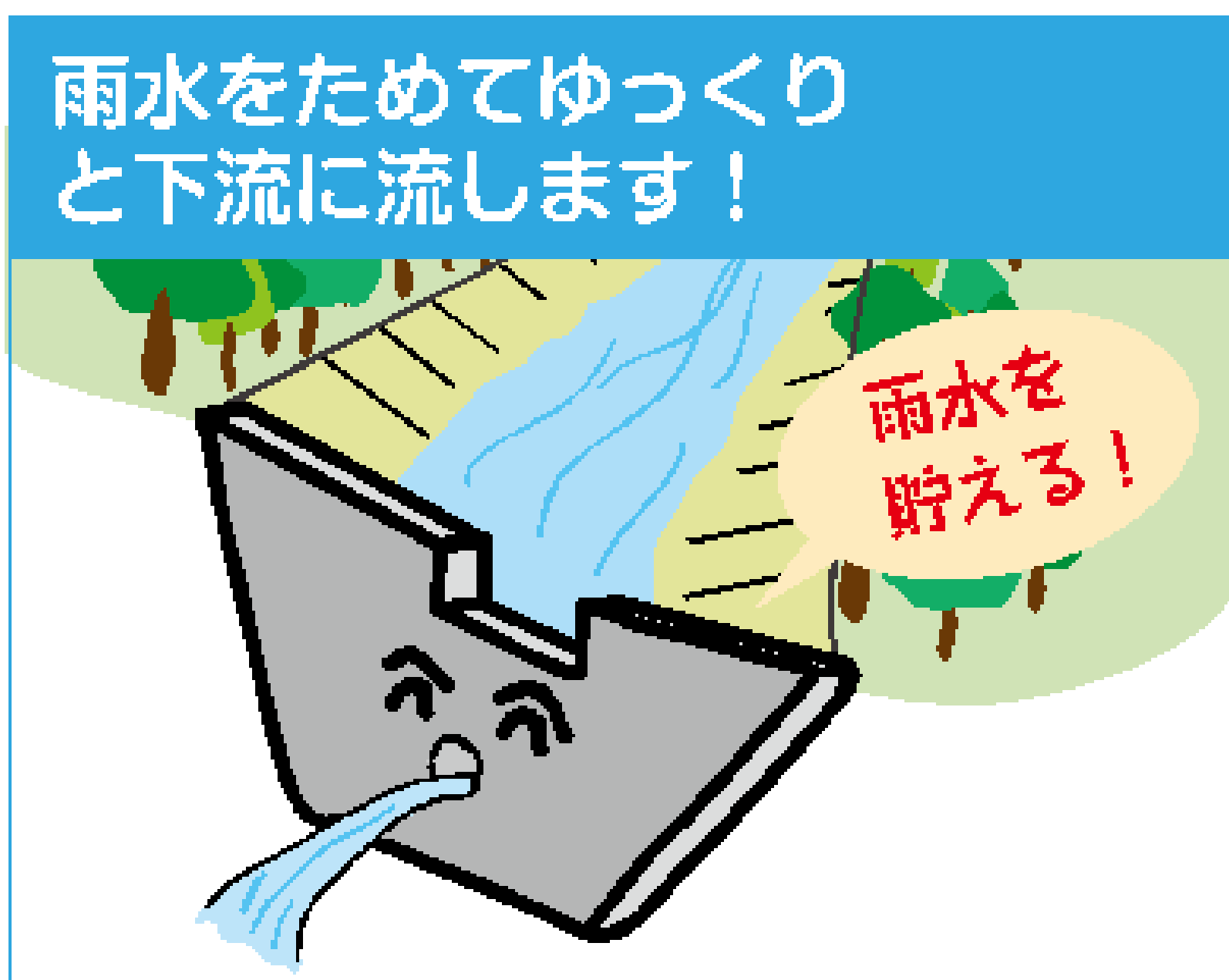
■ 治山ダムは、土砂をためることで土砂災害を防ぐなど役立っています



上流から流れてくる土砂が下流にいきなり流れ出ないように受け止めて、少しずつ安全に流します。

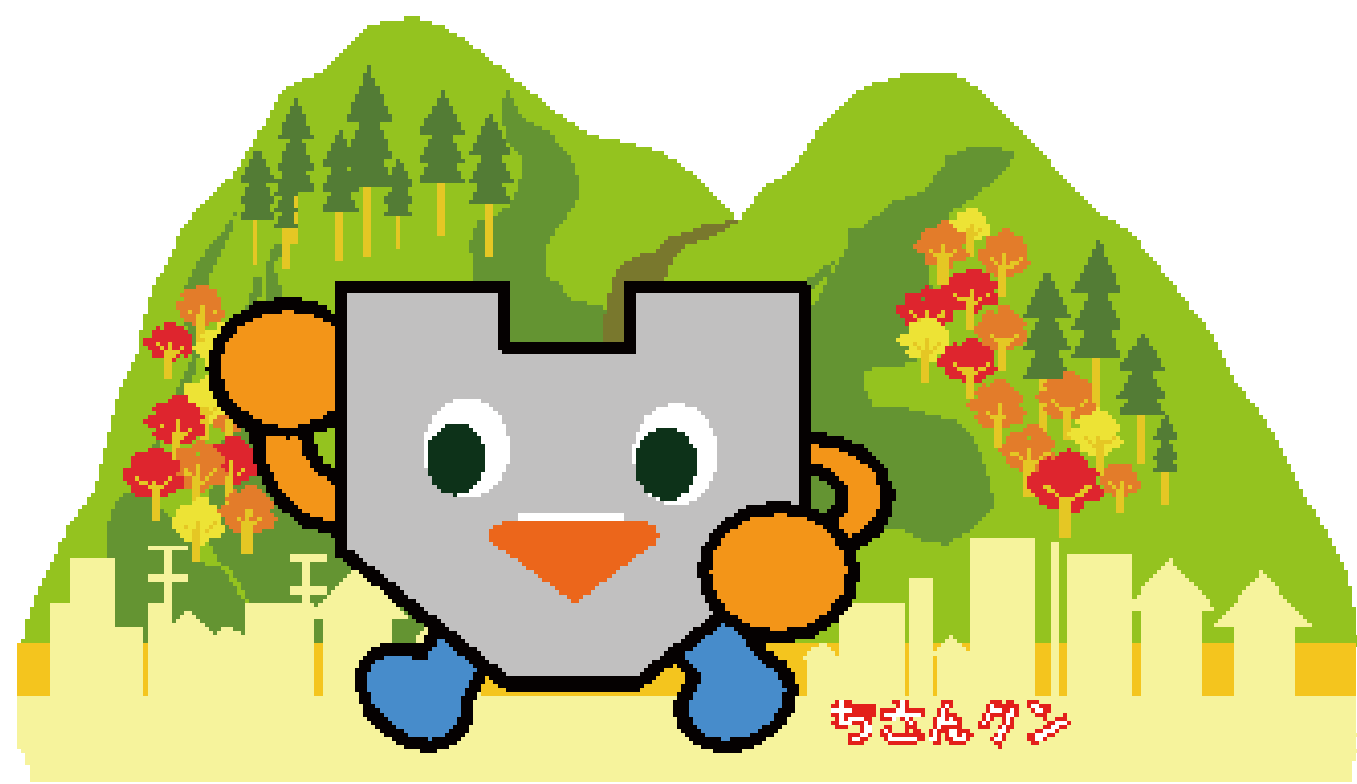


雨水が川岸を削ることを防いで、山の斜面が崩れないようにします。

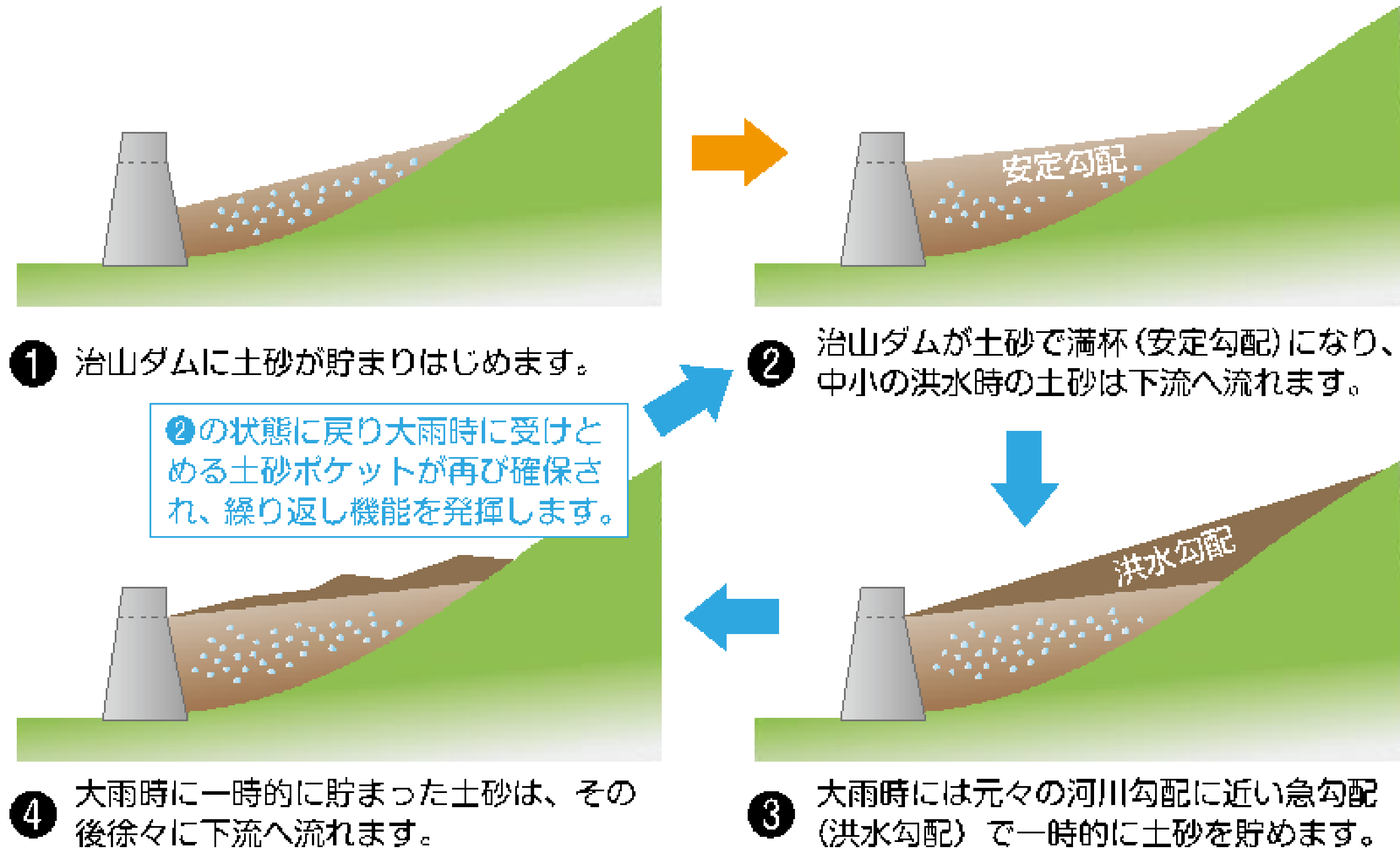


治山ダムの上流側にたまった土砂の隙間に水を貯えて、人や植物などが生きていくための水をゆっくり流します。

■ 治山ダムは、満杯になった後も繰り返し機能を発揮します

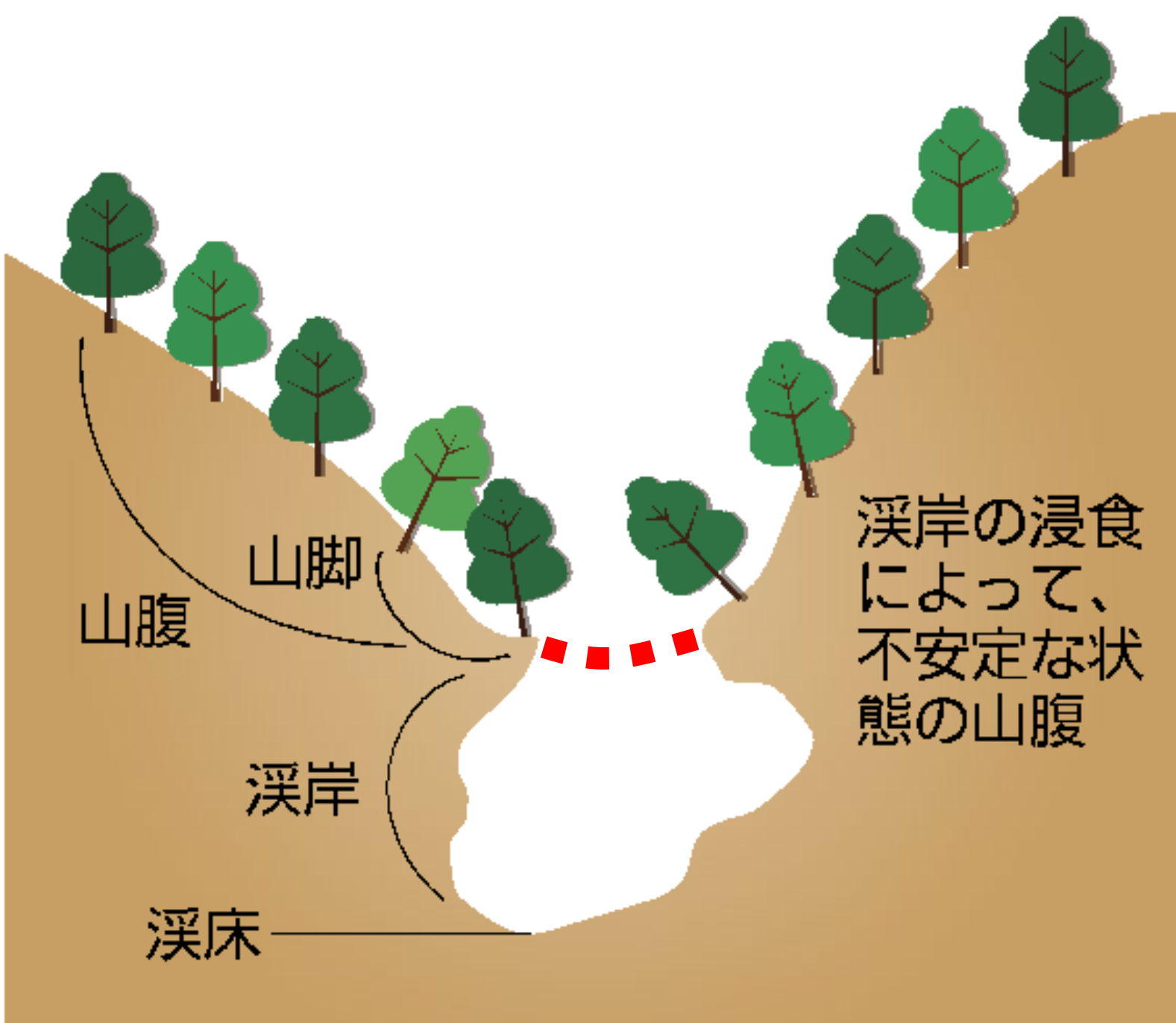


- 土砂が満杯になった後も大雨時には一時的に土砂を貯めることができます。②→③
- その後、自然に土砂が流下することで繰り返し機能を発揮します。④→②



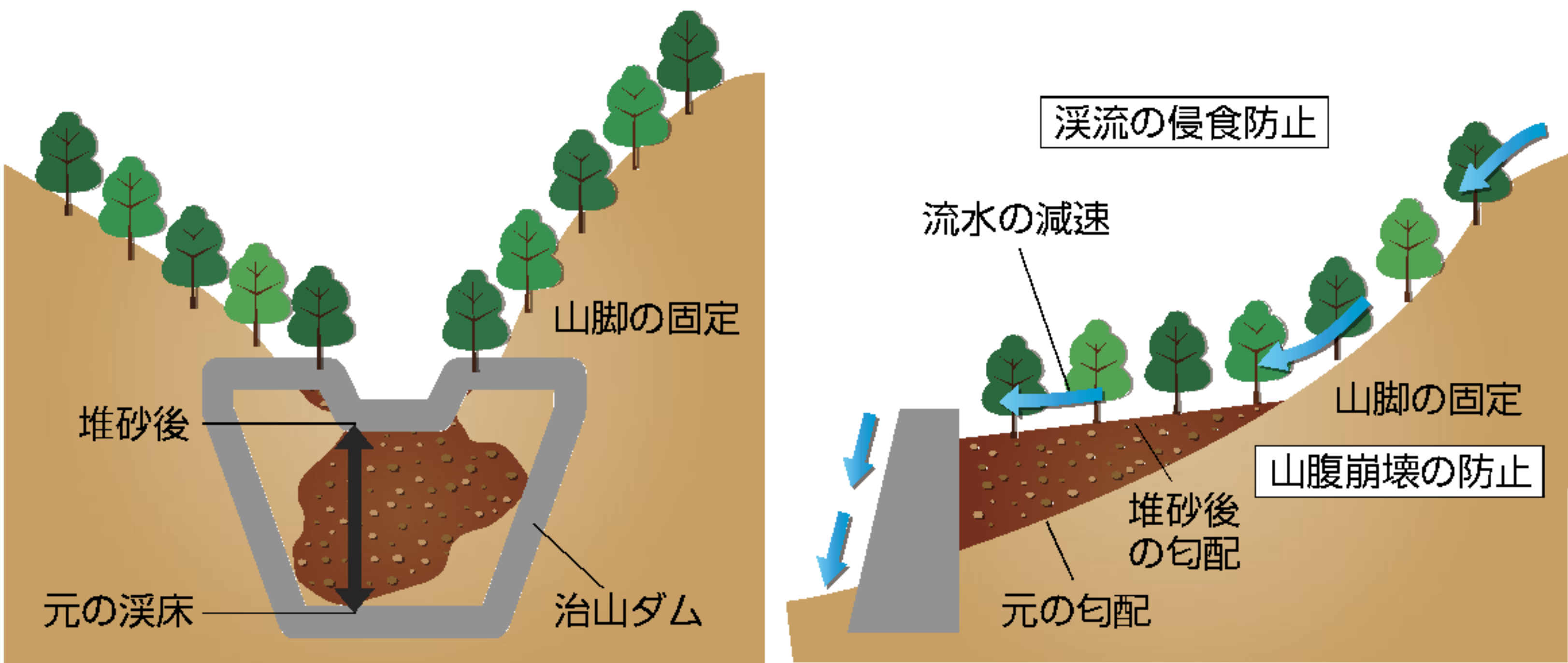
■ 治山ダムは、溪流の浸食や斜面の崩壊を防止します

### 流水によって 浸食を受けた溪流



大雨や洪水で溪床や溪岸が浸食され、山腹や山脚が崩れやすくなります。

### 治山ダムによって保全された溪流



治山ダムを設置し、その背面に土砂が堆積することで、崩れやすかった山脚を固定させ、山腹の崩壊を防ぎます。

また、勾配が緩やかになり流水の速度が抑えられることから、溪流の浸食を防ぐとともに、土砂が下流に流れ出すのを抑止します。

[香川県HPより]